

V 資料

1. 長崎大学ダイバーシティ推進センター研究紀要

長崎大学ダイバーシティ推進センターでは、今年度から、ダイバーシティに関わる研究を発展させていくことを目的に、その科学的知見を蓄積し、広く公開する『長崎大学ダイバーシティ推進センター研究紀要（Diversity and Inclusion Research in NAGASAKI University）』を発行することになりました。

年1回発行とし、オンライン・ジャーナルの形態で公開します。

今年度は、5名の方からの投稿があり、3月末に発行しました。目次は以下の通りです。

原著	
札幌地裁と大阪地裁の同性婚裁判における「婚姻」観の違いについて —「婚姻」とは何か、「婚姻の本質」をめぐるの裁判官の見解を中心に—	河村有教
ケベックのフランス語系大学における性の多様性の尊重に向けた取り組み	矢内琴江
学校における働き方見直しの促進要因及び阻害要因となる教師の意識	吉田ゆり
活動報告	
WISELI潜在的バイアスワークショップの日本での展開における課題	中島ゆり
マタニティ白衣レンタルと出産・子育てを経験する女性医師に関する研究 —助成医師の就労継続を支援するために—	南貴子 伊東昌子 瀬戸牧子

投稿規定の主な内容は以下の通りです。

【投稿者の資格】

- 1) 第一筆者もしくは責任筆者は、長崎大学教職員のうち、ダイバーシティ推進センターの各種委員会等の委員とする。
- 2) 共同執筆者は、1)の指導または協力による共同研究者（学内、学外を問わない）を含むことができる。
- 3) ダイバーシティ推進センター長が適切と認めた者。

【刊行・公開の形態】

- 1) 紙媒体での刊行は行わない。
- 2) 電子化公開（オンライン）のみとし、長崎大学学術研究成果リポジトリに掲載し、公開する。

【原稿の種類】

原稿の種類	内容
原著	適切な方法論に基づいて実施された研究・観察であり、独創性・新規性ともに科学的価値が認められる論文
展望	これまでの知見、研究業績を総括し、解説した論文
実践研究	テーマの実践について研究・観察された論文
活動報告	テーマの実践報告であり、他地域・分野で同様の事業・活動を展開する上で参考になる報告
資料	貴重な資料となるデータを有している論文
その他	上記のいずれにも該当しない原稿で、重要な内容を有しているもの。編集委員の判断により、適宜、「オピニオン」「書評」等のカテゴリーを設けることがある。

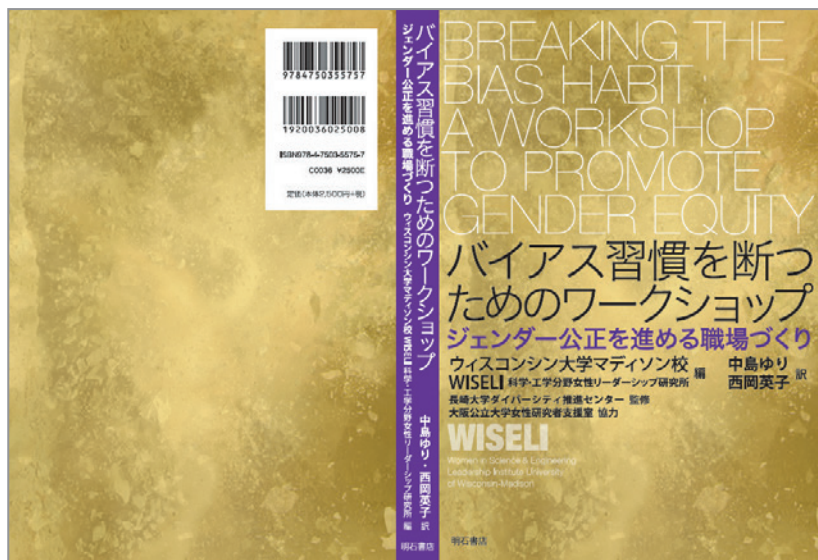
2. バイアス習慣を断つためのワークショップ ジェンダー公正を進める職場づくり (WISELI (翻訳書))

【発行の経緯】

2019年に採択された「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (先端型)」の一環として「ダイバーシティ推進学習プログラムの開発」を進める上でまずは海外の先駆的な取り組みを参考にするために2020年3月に中島副センター長がアメリカのウィスコンシン大学マディソン校の科学・工学分野女性リーダーシップ研究所 (Women in Science and Engineering Leadership Institute : 以下、WISELI) を訪問しDr. Jennifer Sheridanにヒアリングを実施することになった。ヒアリングの際に譲り受けたのが、採用の公正な方法について記されたSearching for Excellence & Diversity: A Guide for Search Committees”および本訳書の原著である”Breaking the Bias Habit: A Workshop to Promote Gender Equity”であった。ヒアリング時にこれらのガイドラインは長崎大学のほか同じくJSTの助成を得てWISELIと提携していた大阪市立大学 (現 大阪公立大学) が譲り受け、日本で翻訳される予定があることを聞いた。2021年9月に大阪市立大学女性研究者支援室に連絡を取り、協同で翻訳することとなった。上記2冊のうち、Breaking the Bias Habit: A Workshop to Promote Gender Equity”は長崎大学が学習プログラムの開発に参考にしたことから、主として翻訳作業を行い、2023年3月に『バイアス習慣を断つためのワークショップ——ジェンダー公正を進める職場づくり』を明石書店から出版することとなった。

【翻訳書の内容】

『バイアス習慣を断つためのワークショップ—ジェンダー公正を進める職場づくり』は潜在的バイアスを断つためのワークショップの方法についてのガイドラインである。3つのモジュールからなり、まずモジュールIにおいて思考の習慣としての潜在的バイアスとは何かについて学び、モジュールIIでは職場において顕在する6つのバイアス (PERSIST)、すなわち「規範的なジェンダー秩序 (Prescriptive Gender Norms)」、「期待バイアス (Expectancy Bias)」、「業績の再定義 (Reconstructing Credentials)」、「ステレオタイプ・プライミング (Stereotype Priming)」、「役割不適合 (Incongruity of Roles)」、「ステレオタイプ脅威 (Stereotype Threat)」といった用語について学ぶ。さらにモジュール3において、個人的・組織的なプロセスの両方においてバイアスを適応するのを最小限にするエビデンスベースの戦略について学ぶ。ここではステレオタイプを頭から追い払おうとする「ステレオタイプ抑制」や「自分の客観性に対する信頼」が効果のない戦略だとして紹介し、その後、効果のある戦略として「ステレオタイプを代替する」、「反ステレオタイプ・イメージング」、「個別化」、「パースペクティブ・テイキング」、「接触の機会を増やす」という戦略が紹介されている。主にSTEM領域の教員・職員を対象として開発されたものであるが、他領域や学生に対しても応用可能であり、潜在的バイアスへの学びを深める上で有意義なガイドラインである。



3. ニュースレター (おもやい通信)

おもやい通信第48号 (令和4年5月発行)

このプログラムは、長崎大学のすべての人が、それぞれの能力を十分に発揮できるように、ダイバーシティについて正しく理解し、多様性を尊重するための意識を醸成するためのものです。学生連合学生、アンケートを受けていただき(匿名)、LGAより、アンコンシヤス・ハイパスに関する動画を掲載していただきます。

●実施方式の詳細は、当センターのホームページに掲載致しません。
●すべての教職員が対象です。
●管理職の方は、アンコンシヤス・ハイパス(遠隔研修)に加えて、管理職研修も実施していただきます。

2022年度 学習プログラム職員50研修スケジュール	※1:1回生して1カ月に1回	※2:1回生して1カ月に1回
日程	時間	場所
4月	12:45-13:30	ダイバーシティ推進センター
5月26日(水)12:15-12:45	12:45-13:30	ダイバーシティ推進センター
6月23日(水)12:15-12:45	12:15-12:45	ダイバーシティ推進センター
7月24日(水)16:00-17:30	16:00-17:30	ダイバーシティ推進センター
8月3日(水)16:00-17:30	16:00-17:30	ダイバーシティ推進センター
9月		ダイバーシティ推進センター
10月		ダイバーシティ推進センター
11月		ダイバーシティ推進センター
12月		ダイバーシティ推進センター
1月		ダイバーシティ推進センター
2月		ダイバーシティ推進センター
3月		ダイバーシティ推進センター

今年度のso-seminarについて
ダイバーシティ推進学習プログラムの一環として、ダイバーシティについて、様々な視座から学び、知識をより広げていくことに基づいたso-seminarを実施しています。

育児・介護休業法改正に伴う 本学休職制度のご案内

令和4年4月1日から 本学の休職制度が変わりました!

改正の3つのポイント

- 1) 不妊治療にかかる通院等のための休職【常勤・非常勤】
一泊において6日(非常勤職員においては一日一回) (当該通院等が休職受給その他の特定の事由発生にかかわらず発生する場合は2日)
- 2) 配偶者出産休暇及び育児参加の休職【非常勤】
①配偶者出産休暇: 書の入職日から出産の日後2週間までの間に2日
②育児参加の休職: 休職期間内に6日
- 3) 産前・産後休職の有給化【非常勤】

※非常勤職員において取得できる要件(次のいずれも満たす者)
7:1週間の勤務が6日以上かつ出勤している非常勤職員
6月以上の任期が定められている又は6月以上出勤している非常勤職員

	旧		新	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
1) 不妊治療休職	—	—	○有給	○有給
2) 配偶者出産休暇	○有給	—	○有給	○有給
2) 育児参加の休職	○有給	—	○有給	○有給
3) 産前産後休職	○有給	○無給	○有給	○有給

当センターホームページにも「**出産・育児のABC(改訂版)**」を掲載しておりますので、ご覧ください。
https://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp/abc_book/

学内学童保育(おもやいキッズ)の中止について
新型コロナウイルス感染症の感染拡大リスクの観点から、残念ながらも今年度も中止とします。

テクニカルスタッフ雇用制度について
新卒、育英、介護、病後などで研究時間の確保が困難な研究者(性別は問いません)に対し、テクニカルスタッフを配置できる支援を行っています。

リスタートアップ研究員について
出産、育児、介護、病後などでキャリアを一時的に中断し、復帰の際に研究費を助成支援します。研究者(性別は問いません)が対象です。

目次よりダイバーシティ推進センターの運営にご協力いただきありがとうございます。
センター職員一同、今年度も引き続き、引き続きよろしくお願いいたします。

おもやい通信第49号 (令和4年7月発行)

女性研究者自身及びこれに多くのかかろうとする女性研究者の活動、その研究意欲を鼓舞し、もって学術研究の将来を担う優秀な女性研究者の育成等に資することを目的としています。多くの女性研究者の方の応募をお待ちしております。

【募集期間】
令和4年6月1日(水)～8月19日(金)正午必着

【対象】
本学において研究を行う本学所属の50歳以下(令和4年4月1日時点で50歳未満)の助教以上(教授を除く)の女性研究者で、かつ、男女共同参画推進に貢献している、もしくは見込を持つ者。

【賞】
優秀女性研究者賞(正賞:賞状 副賞:研究費)
優秀女性奨励賞(正賞:賞状 副賞:研究費)

【応募要項】
令和4年11月頃

長崎大学で活躍する女性研究者 紹介動画の公開

このたび、様々な分野で活躍する19名の女性研究者の皆さんに、ご自身の研究の成果や、研究活動への思いなどを語っていただいた動画を公開しました。様々な分野における最新の研究について、また海外との共同研究についてお話ししていただきました。また、研究内容だけでなく、研究への思い、研究を続ける上での困難、学生とのかわりなどについても語っていただいています。ふんふん、なかなか知ることのできる研究内容や、研究者の姿をインタビュー、研究室、研究室との接点などが紹介されています。ぜひご覧ください。

こちらのQRコードから動画一覧にアクセスできます。

なお、今回ご出演いただいた先生方は、JST「ダイバーシティ推進センター」の助成を受けて研究に取り組んでいただいた先生方です。

おもやいオンラインサロン 紹介

女性研究者どうしが自由にコミュニケーションをとり、つながり合えるための場として、オンラインサロンを立ち上げました。

各分野では、まだまだ少ない女性研究者。しかも、分野を超えて出会い、情報共有する機会なかなかありません。そこで、もっと気軽に研究や、ライフのことも含めて、情報交換をしたり、情報を得たりできる場として、「おもやいオンラインサロン」を作りました。

このオンラインサロンの活用のかたとしては…
まずは、研究、イベントなどの情報発信や、オープンコミュニケーションでのちょっとした語りごとや、日常のことなどの共有が、SNSのようにブログや写真で共有できる(例えば、センターの日常の風景なども載せています)。
そして、お互いの発信する情報を見ながら、もっとコミュニケーションをしていきたい、やりとりをしてみたいときには、Slackを活用できます。

女性研究者のためのオンラインサロンは、初めての試みです。センターでの様々な活動と組み合わせながら、女性研究者の皆さんのネットワークづくりの場にしていきます。

こちらのQRコードがオンラインサロンのページです。
会員登録は右に、画面をスクロールし、一番下の左側に、「お問い合わせ」ボタンをクリックしてください。

教育・研究サポート 人材バンク

【対象者】
長崎大学の大学院生、または、学部生

【募集の目的】
①(学生)は人材バンクに登録
②(学生)は人材バンクに登録
③(教員)は学生に指導・助産等を行う
④(教員)は学生に指導・助産等を行う

貸出図書のご案内

心理学、ワークライフバランス関連図書や児童向け10歳未満が読みやすい図書などがあります。予約できずともお貸しに利用ください。詳しくはhttps://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp/book_rent/

編集・発行 国立大学法人長崎大学ダイバーシティ推進センター
〒852-8512 長崎県長崎市1-14 TEL: 095-813-2083 FAX: 095-813-2158
E-mail: cdi@cdi.nagasaki-u.ac.jp
HP: <https://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp/>

おもやい通信第50号 (令和4年9月発行)

NAGASAKI UNIV.
長崎大学 ダイバーシティ推進センター
NEWS & LETTER
—おもやい通信— 2022. 9 Vol. 50

令和4年度 長崎大学病院ワークスタイルイノベーション(WSI)
●POCAサイクル

眼科チーム
2022年度、初めて参加する眼科チーム。昨年度、「WSIに取り組みたい」と賛同してご連絡いただきました。医師、看護師、臨床研究士等専門的なスタッフからなる眼科チームは、そのいたるを「向上心があがり、みんなが勇気でき、壁のない、ほぐれ開ける、開ける、お互い助け合えるチーム」としました。まず、「早く始めることを目指す原因」について意見を出し合い、「カンパレンスの時間が短い」ことについて、さらに原因分析を行いました。

薬剤師チーム
今年度、初めて参加する薬剤師チーム。眼科からWSIの取り組みに興味を持ってくださり、昨年度の総務委員会に参画し、今年度の取組に率先参加していただきました。薬剤師の多い眼科チームは、60名を超えるスタッフからなり、その多様性、「チームの結束がよい、互いに助け合える、心構えも非常に充実でき、全体の個性を活かして進歩を達成できるチーム」としました。まず、「産出しがよい状況」に足りない場面を出し合い、その原因と解決策を考えたいと思います。

おもやい通信 Vol.50

2022年度学術プログラム SD研修スケジュール
ダイバーシティ推進学術プログラムでは、月に1度、様々なテーマでSDセミナーを実施しています。9月～11月は学内限定のセミナーです。12月は、オープンセミナーとなっておりますので、市民の方へご参加いただけます。ぜひ、ご参加ください。また、教職員の方は、ぜひ、年に1セミナーは受講していただければと思います。

9/29お申し込み締め切り

ジェンダー・セクシュアリティ研修概観
研修講師のご理解とご協力をお願いし、中央図書館において、ジェンダーやフェミニズム、セクシュアリティについての理解を深めるための本を展示するコーナーを設けたいと思っています。

■期間: 2022年8月22日～11月末(予定)
■場所: 中央図書館1Fラーニングコモンズ
「ダイバーシティ推進センター」展示本コーナーにはわかりやすいPOPがついています。ぜひ、足を運んでみてください！

教育・研究サポート 人材バンク
【教育・研究サポート人材バンクとは】
●本校から自校外部への依頼
●米国の文書に日本語に翻訳
●Webサイトの制作/修正
●PC・Excel等のサポート
●多岐にわたるサポート
●学業・研究・生活支援
●その他
●お問い合わせ先
長崎大学 学務部 学務課
〒852-8502 長崎市本町1-10-10
TEL: 095-824-2200 FAX: 095-824-2210
E-mail: ucsp@nagasaki-u.ac.jp
HP: http://www.ucsp.nagasaki-u.ac.jp

おもやい通信 Vol.50

おもやい通信第51号 (令和4年11月発行)

NAGASAKI UNIV.
長崎大学 ダイバーシティ推進センター
NEWS & LETTER
—おもやい通信— 2022. 11 Vol. 51

◇令和4年度 市民公開講座◇
「多様性が活きる働き方ーメルカリの取組に学び、自分事として考える」

多様性の時代は、誰もが活躍できる新たな組織の在り方や、より創造的な仕事を生み出すことで、本講座では、株式会社メルカリの「無言のアイスクワッシュ」等を通じたダイバーシティ推進の取組に学び、パーソナルスキルアップを通して、長崎県内での取組や課題を共有し、自分事として、組織の多様性をより豊かに活かす働き方や、組織づくりの在り方を考えます。

◇ダイバーシティ学習プログラムSDセミナー◇
●11月SDセミナーは「介護と仕事の両立の経験者の方たちの座談会」形式になります。(11/25開催)
●12月SDセミナーは上記の「市民公開講座」になります。(12/1開催)
●1～11月のセミナーの予定は以下の通りです。詳しくはこちら

11月SDセミナー
11/25 (金) 15:00～16:00
講師: 菅野子氏 (長崎大学名誉教授)
2月「職場のダイバーシティの働き方を変えるために」
3月「働きながら学ぼう」
11/25 (金) 14:00～16:00
講師: 菅野子氏 (長崎大学名誉教授)
講師: 田代高典助教 (人文社会科学 経済学系)
講師: 本間孝彦氏 (総合社会 オフィス 総務課)

おもやい通信 Vol.51

第7回 長崎大学 未来に羽ばたく女性研究賞
受賞者研究発表会および授与式

今年度は研究発表4件、奨励賞3件の応募があり、厳正な審査の結果、3名を選出いたしました。

専攻女性研究賞
生命環科学域(生物学) 教授 原澤裕子
長崎放線菌研究所を用いた放射線感受性遺伝子変異シグネチャー解析と産物産生の学術的貢献の探求
総合生産科学域(工学系) 教授 内田健雄
典型元素を利用した新規発光機能性化合物の創出

専攻女性研究賞
生命環科学域(生物学) 准教授 高村敏子
解閉株を対象とした遺伝子発現解析

授与式 令和5年1月26日(木) 15:30～16:30
会場 交感スカイホール

女性研究賞海外派遣奨励制度
12月1日より、東洋大学の「女性研究海外派遣奨励制度」発達の機会がスタートします。海外における研究で、女性研究者の皆さんが、さらに高度な研究力とリーダーシップを発揮し、活躍されることを目指していきます。

おまやいオンラインサロン
女性研究者の発信・交流のための「おまやいオンライン・サロン」です。ブログ形式で、簡単に自身の研究や日本のことを発信したり、コメント欄などで気軽に質問も受け付けています。ぜひ、おまやいオンラインサロンにぜひご参加ください。

ジェンダーの本紹介
村田節子・船橋順子・矢内環江・弓削敏子
ジェンダーの本紹介(1)～自分らしく生きるために～(大塚敬典, 2022年)
教育者、法曹、歴史と分野が異なる職種が、それぞれの領域の中でジェンダーの視点、文学の授業の中で学んだことのコミュニケーション、自身の経験や価値観を共有し、お互いに学びあうという目的で、本紹介を行いました。今後、さらに多岐にわたる分野の女性研究者の皆さんも、ぜひご参加ください。

11月1日は介護の日
介護の日。今年度も介護の日には、介護コンシェルジュが来館し、学習職員・学生の皆さんへ介護の大切さや介護の現状などについてお話しをさせていただきます。お気軽にご参加ください。

おもやい通信 Vol.51

おもやい通信第52号（令和5年2月発行）



長崎大学 ダイバーシティ推進センター

NEWS LETTER

—おもやい通信— 2023.2 Vol. 52

令和5年3月9日開催 令和4年度病院の働き方改善シンポジウム

令和4年度病院の働き方改善シンポジウムを開催しました。会場は長崎大学病院に於ける働き方改善推進センターにて、長崎大学医学部附属病院の職員チームが発表を行いました。また、千葉大学や京都府立医科大学など、全国の病院と連携して開催しました。働き方改善推進センターの働き方改善推進員が、多岐にわたる病院の働き方改善について報告を行いました。

自由参加 申込受付期間：14:00～16:00
 申込受付場所：長崎大学病院 第一中庭
 申込受付時間：令和5年2月6日（月）

● 病院の働き方改善について学びたい方へ
 千葉大学医学部附属病院 橋本幸太郎 病院長
 長崎大学病院 中塚一彦 病院長

● 病院チームによる成果発表
 長崎大学病院 眼科チーム・薬剤師チーム、長崎大学総合病院 看護チーム



地方別長崎大学卒業生に呼びかける学術研究会発表会および展示活動

地方別長崎大学卒業生に呼びかける学術研究会発表会および展示活動は、令和4年11月26日（土）15:30～16:30、交歓ホール（長崎大学）において開催されました。

研究会発表は、3人の発表者から発表されました。高村孝志教授が「AIとデータサイエンスの活用について」、森田孝志教授が「地方自治体のデジタル化と地域経済の活性化について」、佐藤孝志教授が「地方自治体のデジタル化と地域経済の活性化について」を発表しました。また、長崎大学卒業生による展示活動も行われました。

長崎大学卒業生は、地方自治体のデジタル化と地域経済の活性化に貢献することを期待しています。



（左から）長崎大学 高村孝志教授、森田孝志教授、佐藤孝志教授、長崎大学 中塚一彦病院長、長崎大学 橋本幸太郎病院長

ダイバーシティ オンラインカフェ

日時：3月8日（水）14:00～15:00
 形式：Zoom
 議題：① 企業人事（社会福祉科学専攻/臨床心理学）
 ② 学生生活（看護学専攻）

長崎大学ダイバーシティ推進センターのオンラインカフェは、毎月開催されています。今回は、企業人事と学生生活の2つの議題をテーマに、Zoomでオンラインカフェを開催します。参加費は無料です。興味のある方は、お申し込みください。

お申し込みはこちら
[https://www.nagasaki-u.ac.jp/diversity/online-cafe/](#)

3月8日は国際女性デー

日本ではあまり知られていない、国際女性デー。日本では、毎年3月8日は国際女性デーです。この日は、世界中の女性たちが、男女平等を求め、社会の発展に貢献することを目指しています。

長崎大学では、国際女性デーを記念して、3月8日に国際女性デーイベントを開催します。このイベントでは、女性たちが活躍する分野について、学生たちが発表を行います。

3月8日は、国際女性デーです。長崎大学では、国際女性デーを記念して、3月8日に国際女性デーイベントを開催します。このイベントでは、女性たちが活躍する分野について、学生たちが発表を行います。

ダイバーシティ学部プロダクトデザインSDGセミナー(2月-3月)

2月SDGセミナー「物販とSDG」
 開催日時：2月15日（水）15:00～16:00
 講師：田中先生（経済学部）

3月SDGセミナー「働き方とSDG」
 開催日時：3月1日（土）14:00～15:00
 講師：中野先生（経済学部）

研究者のみならずへ

リスタートアップ研究支援
 長崎大学では、研究者のみならず、社会起業家やスタートアップ企業など、多岐にわたる分野で、研究者の研究成果を社会に還元することを支援しています。

リスタートアップ研究支援
 長崎大学では、研究者のみならず、社会起業家やスタートアップ企業など、多岐にわたる分野で、研究者の研究成果を社会に還元することを支援しています。

ダイバーシティ推進センターの活動について

長崎大学ダイバーシティ推進センターは、多岐にわたる分野で、研究者の研究成果を社会に還元することを支援しています。また、学生たちの活躍をサポートするための活動も行っています。

ダイバーシティ推進センターの活動について

長崎大学ダイバーシティ推進センターは、多岐にわたる分野で、研究者の研究成果を社会に還元することを支援しています。また、学生たちの活躍をサポートするための活動も行っています。

- 73 -

4. ニュースレター（介護の通信）

春号（5月発行）

介護の通信

2022年夏号
ダイバーシティ推進センター発

介護の基礎知識

★ご存知ですか？ 地域包括支援センター 無料で対応していただけます。お気軽にご相談ください。

- 地域包括支援センターは、介護・医療・保健・福祉などの側面から高齢者を支える「総合相談窓口」です。
- 人口2～3万人の日常生活圏域（多くの場合、各中学校区域）を1つの地域包括支援センターが担当しており、日本全国にあります（平成29年度時点で、全国に5,020施設あります）。
- 専門知識を持った職員が相談に応じており、どんなでも利用できます。介護保険の申請窓口も扱っています。
- 離れて暮らす親について家族が相談したい場合は、支援対象となる親が住んでいる場所の地域包括支援センターに問い合わせてみましょう。お住まいの住所によって担当が異なります。まずはお電話で連絡ください。

このような困りごとはありませんか？ 介護が親にならなければたら→地域包括支援センターへ

○お金の心配のこと…「最近物価がひどく、お金の管理に自信がなくなってきました。親身内もいません」
○車庫のこと…「離れて住んでいると親の車が盗まれても気づかなくて心配です。なかなか車を別に行けません」
○近所の高齢者のこと…「最近顔を見かけなくなった高齢者がいますが、ひとり暮らしなので心配です」

参考：長崎市の地域包括支援センター一覧はこちら

7/8(金) 学内限定 ※要予約
仕事と介護の両立サポート
教職員相談会
(大学病院医談室)

個別対応です。事前にご予約ください。また、ご希望の日時へ対応も可能です。

8/19(金) 14:00～15:30
第1回仕事と介護の両立セミナー
(ZOOM)

講師：太田雄志氏

遠隔型介護、介護にかかる費用など、仕事と介護のどちらも継続するための知恵とコツをお伝えします。

個別対応です。事前にご予約ください。また、ご希望の日時へ対応も可能です。

8/22(月) 学内限定 ※要予約
仕事と介護の両立サポート
教職員相談会
(文芸ホール)

以下、介護の相談窓口(学内)にお申込みをお願いします。

個別対応です。事前にご予約ください。また、ご希望の日時へ対応も可能です。

介護の相談窓口(学内)のご案内

利用対象：長崎大学学生・教職員
場 所：文芸・坂本・片瀬各キャンパス・病院
メール：omoyai_soudan@ml.nagasaki-u.ac.jp
電 話：095-819-2179

介護コンシェルジュが対応します。どうぞお気軽にご連絡ください。

長崎大学
ダイバーシティ
推進センター

〒852-8521 長崎市文芸町1-14
TEL:095-819-2179/2889 FAX:095-819-2159
mail:omoyai_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp
HP:https://www.cd.nagasaki-u.ac.jp

夏号（7月発行）

介護の通信

2022年春号
ダイバーシティ推進センター発

介護の基礎知識

★介護保険って何？ いつどこに申請する？

介護保険は、40歳から64歳までの医療保険加入者と65歳以上の方は全員が自動的に被保険者となりますので、加入手続きは必要ありません。
40歳以上の方は介護保険料を納め(給料天引)、介護が必要になったときには、費用の一部を支払って利用できます。

いつ？
介護保険は、申請から認定までに約1か月かかります。
「介護保険が必要だ」と思った時が申請のタイミングです。

どこに申請する？
住民票がある市町村の窓口にて申請が必要です。

○介護保険を利用するためには「要介護認定」が必要です。
本人や家族のほか、地域包括支援センター、高齢介護支援事業所や介護保険課にも相談できます。(任意申請)
○65歳以上の方は、どんなでも申請が可能です。
○65歳未満の方は、特定疾病(16種類)に該当する場合は申請が可能です。
○入院中であっても申請は可能です。入院先のメディカルソーシャルワーカー(MSW)にご相談ください。

参考：特定疾病(16種類)

○がん(再発しないがんを除く) ○関節リウマチ
○骨折骨折後遺症 ○心臓病における認知症 ○パーキンソン病
○慢性腎臓病 ○慢性肝臓病 ○糖尿病 ○脳血管障害及び脳神経障害
○脳脊髄疾患 ○認知症関連疾患 など

介護準備ハンドブック
「介護準備のABC～働くあなたのために～」
仕事と介護の両立のための情報提供の一環として学内教職員には無料でお送りしています。お気軽にお問い合わせください。

介護の相談窓口(学内)のご案内

利用対象：長崎大学学生・教職員
場 所：文芸・坂本・片瀬各キャンパス・病院
メール：omoyai_soudan@ml.nagasaki-u.ac.jp
電 話：095-819-2179(2179)

介護コンシェルジュが対応します。どうぞお気軽にご連絡ください。

長崎大学
ダイバーシティ
推進センター

〒852-8521 長崎市文芸町1-14
TEL:095-819-2179/2889 FAX:095-819-2159
mail:omoyai_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp
HP:https://www.cd.nagasaki-u.ac.jp

秋号（10月発行）

介護の通信

2022年秋号
ダイバーシティ推進センター発

介護の基礎知識

★ご存知ですか？ 長崎大学の介護支援制度

育児・介護休業法は、休むための制度ではなく、働き続けることが前提の法律であり、雇用主と結んでいる労働の義務の免脱のための制度です。本学の制度は、法律で定める基準より充実した支援制度となっています。

支援制度	制度概要
早出遅退勤務	要介護者の介護をする職員が、1日の所定労働時間を変更することなく、始業・終業時刻を変更できる制度(業務の支障がある場合を除く)
深夜勤務の制限	業務の運営に支障がある場合を除き、午後10時から午前5時までの間の労働を制限する制度
所定外労働の制限	業務の運営に支障がある場合を除き、所定外労働を制限する制度(介護の必要がなくなるまで時間外労働を認めず)
介護時間	介護を行うために勤務しないことが相当と認められる場合、短時間勤務を認める制度(1日最大2時間の短時間勤務(取得開始日から3年間)、継続)
介護休暇	年に5日間(要介護者が2人以上の場合は10日、1日単位または分単位) 通常6月(非常勤職員93日)の期間内、3分割まで可能。1日もしくは始業の時刻又は終業の時刻から連続した4時間の範囲内、2週間前までに申請が必要。

長崎大学は、育児・介護・病気等を理由とし、要件を満たせば在宅勤務も可能です。

10/7(金) 14:00～15:30
第2回仕事と介護の両立セミナー
(ZOOM)

講師：榊 勇恵氏
(長崎市地域包括支援センター連絡協議会 会長)

地域包括支援センターの役割と活用方法、オンラインツールサービスなどを学び、仕事と介護の両立について考えます。

個別対応です。事前にご予約ください。また、ご希望の日時へ対応も可能です。

11/11(金) 学内限定 ※要予約
仕事と介護の両立サポート
教職員相談会
(大学病院医談室)

以下「介護準備のABC」にお申込みをお願いします。

個別対応です。事前にご予約ください。また、ご希望の日時へ対応も可能です。

介護の相談窓口(学内)のご案内

利用対象：長崎大学学生・教職員
場 所：文芸・坂本・片瀬各キャンパス・病院
メール：omoyai_soudan@ml.nagasaki-u.ac.jp
電 話：095-819-2179

介護コンシェルジュが対応します。どうぞお気軽にご連絡ください。

長崎大学
ダイバーシティ
推進センター

〒852-8521 長崎市文芸町1-14
TEL:095-819-2179/2889 FAX:095-819-2159
mail:omoyai_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp
HP:https://www.cd.nagasaki-u.ac.jp

冬号（12月発行）

介護の通信

2022年冬号
ダイバーシティ推進センター発

介護の基礎知識

★ご紹介★ 元気なうちから手帳

長崎市が作成・発行している「元気なうちから手帳」は、元気なうちから自分のこれからの希望や生き方について、自分で考え、またご家族などの大切な人と話しあうきっかけの機会です。自分らしい未来を考えることは、自分らしい人生を生きることでもあり、自分の人生を大切に考える一つのチャンスです。

10月に実施した「第3期クアラーズ」において、「元気なうちから手帳」のご紹介していただきました。参加者からとても好評でした。

第2章 もしものこと

1.もしものこと、配偶者のごこと、兄弟姉妹のごこと、自分のこと、考えたいこと

2.もしものこと、配偶者のごこと、兄弟姉妹のごこと、自分のこと、考えたいこと

12/12(月) 13:00～15:00

第4回クアラーズ交流会
講師：井口亮 教授 (生命科学研究科保健学系)
場所：葉い場木かげ(佐百町4-7)

「元気なうちから手帳」について説明します。自分ごと、家族のことと一緒に考えてみましょう。

介護の相談窓口(学内)のご案内

利用対象：長崎大学学生・教職員
場 所：文芸・坂本・片瀬各キャンパス・病院
メール：omoyai_soudan@ml.nagasaki-u.ac.jp
電 話：095-819-2179

介護コンシェルジュが対応します。どうぞお気軽にご連絡ください。

長崎大学
ダイバーシティ
推進センター

〒852-8521 長崎市文芸町1-14
TEL:095-819-2179/2889 FAX:095-819-2159
mail:omoyai_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp
HP:https://www.cd.nagasaki-u.ac.jp

5. センター紹介パンフレット

ダイバーシティ推進センターでは、センターの活動を多くの方に知っていただくために、平成27年度にセンター紹介パンフレットを作成しました。その後、実施体制や活動の柱となる委員会の改編に伴い平成30年2月に、事業の見直し等に伴い令和4年2月に改訂版を発行しました。ダイバーシティ推進センターの理念や運営方針をもとに行っているさまざまな事業内容や取組を分かりやすくまとめています。

※ダイバーシティ推進センターホームページに掲載し、気軽にご覧いただけるようにしています。

＜主な内容＞

- ・ダイバーシティ推進センター実施体制
- ・ダイバーシティ推進センターの利用
- ・仕事とライフイベントとの両立支援
- ・仕事と育児との両立支援
- ・仕事と介護との両立支援（学内・地域連携）
- ・研究力アップ支援
- ・教職員のためのネットワーキング
- ・ダイバーシティの環境づくり
- ・刊行物紹介

■仕事と介護との両立支援(学内・地域連携)

学内における介護支援

介護コンシェルジュは、長崎大学の教職員が介護と並走して、仕事や研究を安心して継続できるよう相談に応じます。また、介護実務専門委員会(学内)は、学内での支援だけでなく地域と連携して介護者の支援、仕事と介護との両立支援を推進します。

- **介護コンシェルジュ**
 - 孤立のための長期的な情報提供
 - 介護状況に応じた、必要な情報の提供を行います。
 - 個別コンサルティング
 - 介護が忙しなり始めた教職員や、すでに介護している教職員のコンサルティングを行い、それぞれの状況に応じた個別支援を行います。
 - 緊急対応
 - 緊急を要する状況にたいしては、男性介護サービス相談者との連携も行っていきます。

地域連携による介護支援

行政・民間・介護施設等の協力を得ながら、地域の方にも相談していただける講座・交流会です。

- **仕事と介護の両立相談窓口**

学内の支援体制(介護学級・実習等)や介護実務相談・サービスなど、介護に關すること全般の学内教職員対象の相談窓口です。ご希望の方は、当センターへお電話またはメールにてお申込みください。ご希望に届かない場合は、学内事務局へお問い合わせください。相談者のプライバシーを厳重に守り、安心して相談できるように配慮します。

- **仕事と介護の両立ワークショップ**

介護について理解を深め、大域な教職員の介護理解を促進、不安を軽減してそれぞれの能力を伸ばしてもらうよう、また、仕事と介護を両立できる環境づくりに取り組む(大域的に定期的ワークショップを開催)します。そして、介護について話しやすい職場環境の構築を推進します。

- **ケアラーサポーター養成研修**

地域のケアラー(家族を介護する人)が介護をしたがらも、自身も有難さをもって生活できるように、ケアラーの認知度の向上や心のケアとなるサポーターを養成する目的で、学生や地域住民に介護に関するさまざまな情報を学んでいただきます。

- **ケアラーズ交流会(介護者が語り合う場)**

地域のケアラー(家族を介護する人)の孤立を減らし、精神的な支えとなるコミュニティを形成することを目的に、ケアラーが持つ悩みや解決の経験交換の場を設けます。

ダイバーシティ推進センター
E: cd1@nagasaki-u.ac.jp
TEL: 095-819-2100(学内)または2109(社会)

6. ダイバーシティ推進センター主催セミナー一覧

日 時		セミナー名	内 容
5月12日	18:00～19:00	ウェルカムカフェ	※7
5月26日	12:15～12:40	学習プログラムSDセミナー	※1
6月22日	16:10～19:20	ケアラーサポーター育成研修	※3
6月23日	12:15～12:40	学習プログラムSDセミナー	※1
7月6日	16:10～17:40	ケアラーサポーター育成研修	※3
7月28日	16:00～17:30	学習プログラムSDセミナー	※1
8月3日	16:00～17:30	学習プログラムSDセミナー	※1
8月9日	16:00～17:00	女性研究者のオンラインカフェ	※2
8月19日	14:00～15:30	仕事と介護の両立セミナー	※4
9月29日	14:30～15:30	学習プログラムSDセミナー	※1
10月7日	14:00～15:00	仕事と介護の両立セミナー	※4
10月21日	15:00～16:00	学習プログラムSDセミナー	※1
11月25日	14:00～15:00	学習プログラムSDセミナー	※1
12月1日	14:00～15:00	市民公開講座 学習プログラムSDセミナー	※5
1月20日	15:00～16:00	学習プログラムSDセミナー	※1
2月15日	15:00～16:00	学習プログラムSDセミナー	※1
3月3日	14:00～15:30	学習プログラムSDセミナー	※1
3月8日	16:00～17:00	女性研究者のオンラインカフェ	※2
3月9日	14:00～16:00	病院働き方改革シンポジウム	※6

- ※1 学習プログラム25頁参照
- ※2 女性研究者のネットワークづくり21頁参照
- ※3 仕事と介護の両立に関するイベント44頁参照
- ※4 仕事と介護の両立に関するイベント43頁参照
- ※5 長崎大学市民公開講座32頁参照
- ※6 長崎大学ワークスタイルイノベーション（WSI）36頁参照
- ※7 教職員の交流61頁参照

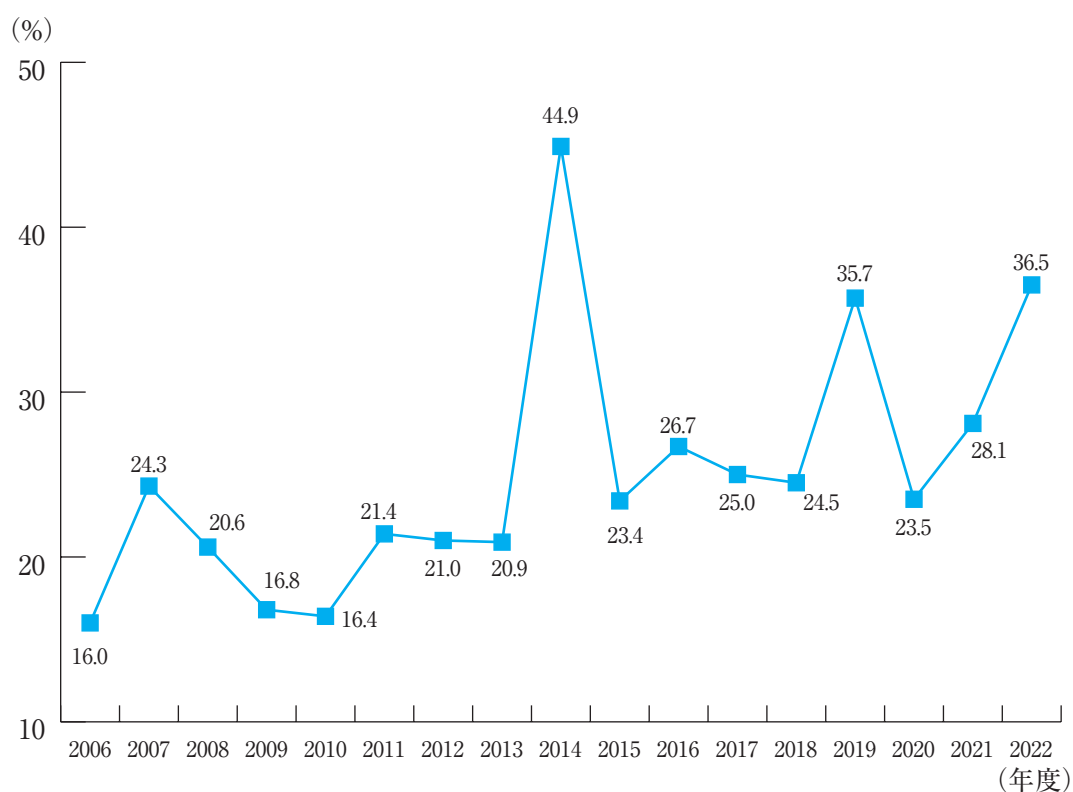
7. 長崎大学における女性研究者・学生に関わる基礎データ

長崎大学女性教員の現状

7-1 女性教員採用率の推移（2006年度～2022年度）

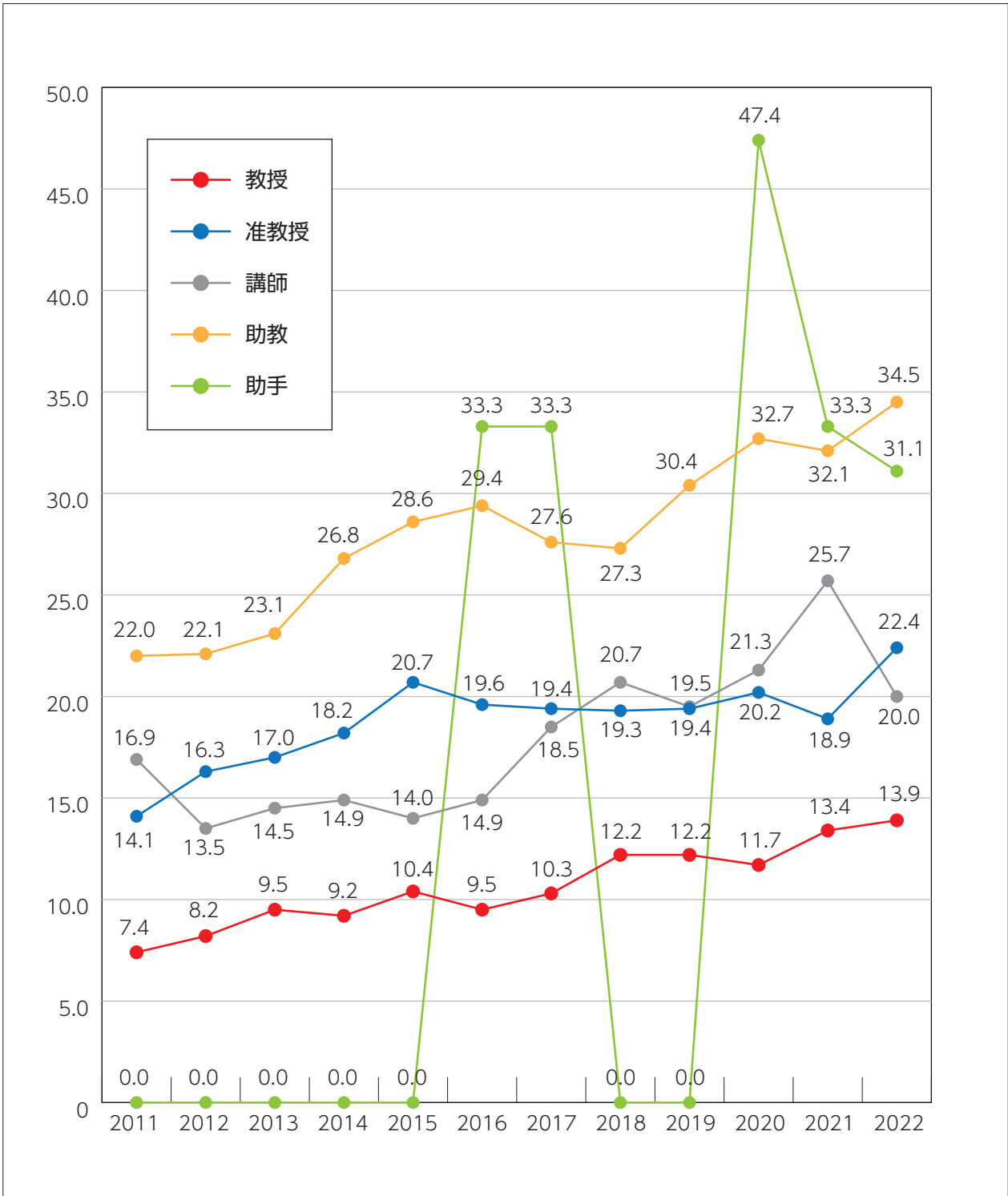
2023年2月1日現在

年度	男性（人数）	女性（人数）	合計	女性比率（%）
2006	79	15	94	16.0
2007	87	28	115	24.3
2008	85	22	107	20.6
2009	104	21	125	16.8
2010	102	20	122	16.4
2011	92	25	117	21.4
2012	128	34	162	21.0
2013	136	36	172	20.9
2014	87	71	158	44.9
2015	121	37	158	23.4
2016	110	40	150	26.7
2017	90	30	120	25.0
2018	117	38	155	24.5
2019	92	51	143	35.7
2020	104	32	136	23.5
2021	92	36	128	28.1
2022	94	54	148	36.5



7-2 女性教員在籍比率の推移 (2011年度～2022年度)

※女性教員比率：各年5月1日現在の女性教員数の比率（助手を含む）



7-3 部局別女性教員数および比率（2022年度）

2022年5月1日現在
 朱書斜体は女性の内数
 (人) (%)

	教授		准教授		講師		助教		助手		計	女性計	女性比率
	男女	女	男女	女	男女	女	男女	女	男女	女			
人文社会科学域（教育学系）	34	8	41	11	0	0	3	2	0	0	78	21	26.9
人文社会科学域（経済学系）	14	3	20	6	2	1	5	3	0	0	41	13	31.7
人文社会科学域（多文化社会学系）	8	2	16	4	0	0	6	2	0	0	30	8	26.7
総合生産科学域（環境科学系）	18	2	20	5	0	0	2	0	0	0	40	7	17.5
総合生産科学域（工学系）	30	3	37	2	0	0	22	0	1	0	90	5	5.6
総合生産科学域（水産学系）	21	1	15	6	0	0	3	0	0	0	39	7	17.9
総合生産科学域（情報データ科学系）	11	1	12	0	0	0	6	1	0	0	29	2	6.9
水産学部	1	0	4	0	0	0	3	0	0	0	8	0	0.0
生命医科学域	2	0	1	0	2	0	2	1	0	0	7	1	14.3
生命医科学域（医学系）	37	2	32	3	12	1	47	14	0	0	128	20	15.6
生命医科学域（歯学系）	17	3	18	5	0	0	41	14	0	0	76	22	28.9
生命医科学域（薬学系）	15	2	15	1	0	0	9	1	0	0	39	4	10.3
生命医科学域（保健学系）	20	7	15	7	0	0	14	11	0	0	49	25	51.0
グローバル連携機構	1	0	2	1	0	0	2	1	0	0	5	2	40.0
研究開発推進機構	1	1	4	1	0	0	1	1	0	0	6	3	50.0
海洋未来イノベーション機構	4	0	1	0	0	0	3	0	0	0	8	0	0.0
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	9	0	5	2	0	0	6	5	0	0	20	7	35.0
熱帯医学研究所	13	1	8	2	0	0	26	9	0	0	47	12	25.5
原爆後障害医療研究所	10	1	5	1	0	0	21	12	0	0	36	14	38.9
病院	18	3	16	2	53	11	176	57	44	14	307	87	28.3
高度感染症研究センター	6	1	3	1	0	0	3	2	0	0	12	4	33.3
留学生教育・支援センター	1	0	3	3	0	0	1	1	0	0	5	4	80.0
保健センター	0	0	3	1	0	0	2	2	0	0	5	3	60.0
ICT基盤センター	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0.0
教育開発推進機構	4	0	3	2	0	0	1	1	0	0	8	3	37.5
言語教育研究センター	6	2	1	0	1	1	7	3	0	0	15	6	40.0
核兵器廃絶研究センター	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	1	25.0
ダイバーシティ推進センター	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0
先端創薬イノベーションセンター	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0
環境保全センター	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0
放射線総合センター	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0.0
感染症研究出島特区	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0
*広報戦略本部ほか	3	0	2	1	0	0	1	0	0	0	6	1	16.7
総計	310	43	308	69	70	14	414	143	45	14	1,147	283	24.7
女性比率	13.9		22.4		20.0		34.5		31.1				

*広報戦略本部ほか：広報戦略本部、計画・評価本部、バイオセーフティ管理官室、障がい学生支援室、キャリアセンター

7-4 部局別女性教員数および比率（2021年度）

2021年5月1日現在
 朱書斜体は女性の内数
 (人) (%)

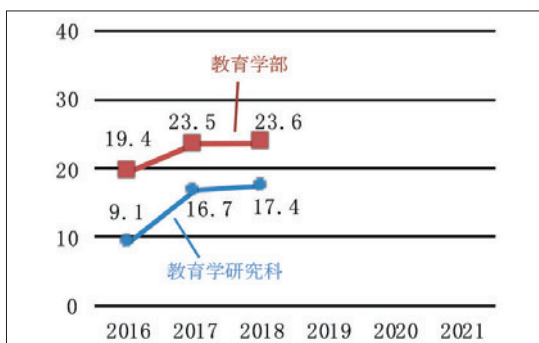
	教授		准教授		講師		助教		助手		計	女性計	女性比率
	男女	女	男女	女	男女	女	男女	女	男女	女			
人文社会科学域（教育学系）	36	8	41	11	0	0	3	2	0	0	80	21	26.3
人文社会科学域（経済学系）	14	3	20	4	2	1	5	2	0	0	41	10	24.4
人文社会科学域（多文化社会学系）	7	2	13	3	0	0	3	1	0	0	23	6	26.1
総合生産科学域（環境科学系）	16	1	23	5	0	0	2	0	0	0	41	6	14.6
総合生産科学域（工学系）	30	2	39	2	0	0	22	0	1	0	92	4	4.3
総合生産科学域（水産学系）	21	1	15	5	0	0	0	0	0	0	36	6	16.7
総合生産科学域（情報データ科学系）	11	0	13	1	0	0	6	1	0	0	30	2	6.7
水産学部	1	0	3	0	0	0	4	0	0	0	8	0	0.0
生命医科学域	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0
生命医科学域（医学系）	39	2	29	3	15	1	54	15	0	0	137	21	15.3
生命医科学域（歯学系）	20	3	17	4	0	0	44	16	0	0	81	23	28.4
生命医科学域（薬学系）	15	2	16	0	0	0	9	1	0	0	40	3	7.5
生命医科学域（保健学系）	19	7	13	6	0	0	14	9	0	0	46	22	47.8
グローバル連携機構	1	0	2	1	0	0	1	0	0	0	4	1	25.0
研究開発推進機構	2	1	4	0	0	0	1	1	0	0	7	2	28.6
海洋未来イノベーション機構	5	0	1	0	0	0	3	0	0	0	9	0	0.0
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	11	2	5	1	0	0	5	4	0	0	21	7	33.3
熱帯医学研究所	16	2	6	1	1	1	30	11	0	0	53	15	28.3
原爆後障害医療研究所	12	2	4	1	1	0	20	9	0	0	37	12	32.4
病院	17	2	18	2	54	15	179	54	29	10	297	83	27.9
感染症共同研究拠点	8	1	2	0	0	0	2	2	0	0	12	3	25.0
附属図書館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
留学生教育・支援センター	1	0	3	3	0	0	0	0	0	0	4	3	75.0
保健センター	0	0	2	0	0	0	2	2	0	0	4	2	50.0
先導生命科学研究支援センター	1	0	1	0	0	0	2	1	0	0	4	1	25.0
I C T 基盤センター	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0.0
教育開発推進機構	2	0	3	2	0	0	2	1	0	0	7	3	42.9
言語教育研究センター	6	2	1	0	1	1	7	3	0	0	15	6	40.0
核兵器廃絶研究センター	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	1	25.0
ダイバーシティ推進センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
先端創薬イノベーションセンター	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0
環境保全センター	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0
* 広報戦略本部ほか	4	0	2	1	0	0	1	0	0	0	7	1	14.3
総計	321	43	301	57	74	19	421	135	30	10	1,147	264	23.0
女性比率	13.4		18.9		25.7		32.1		33.3				

* 広報戦略本部ほか：計画・評価本部、広報戦略本部、バイオセーフティー管理官室、障がい学生支援室、キャリアセンター

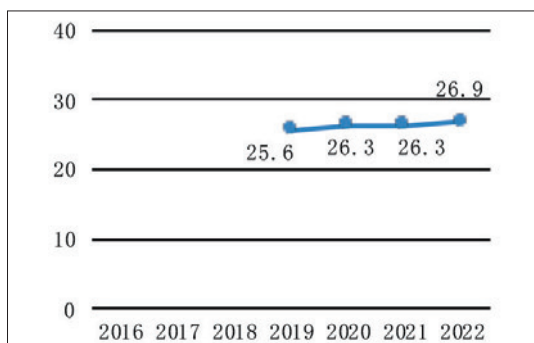
7-5 部局別女性教職員比率の推移

※女性教職員比率：各年5月1日現在の学部・研究科教員数における女性教職員数の比率（助手を含む）

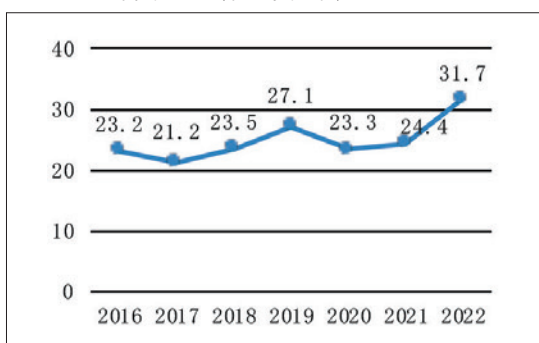
教育学研究科/教育学部



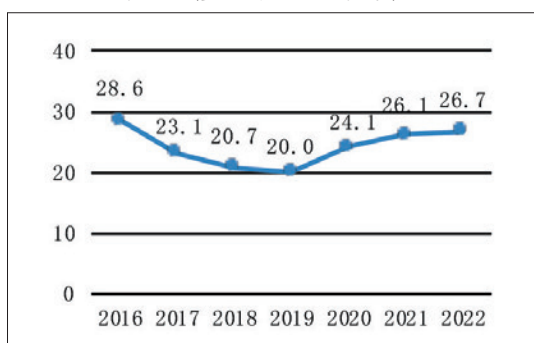
人文社会科学域（教育学系）



人文社会科学域（経済学系）



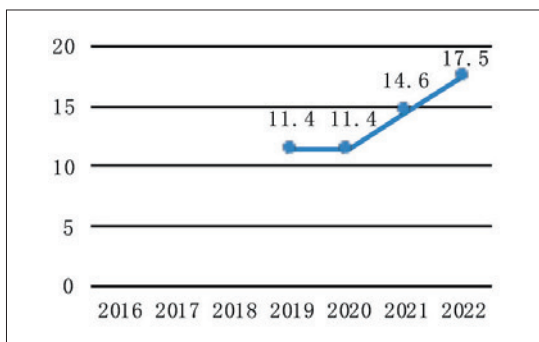
人文社会科学域（多文化社会学系）



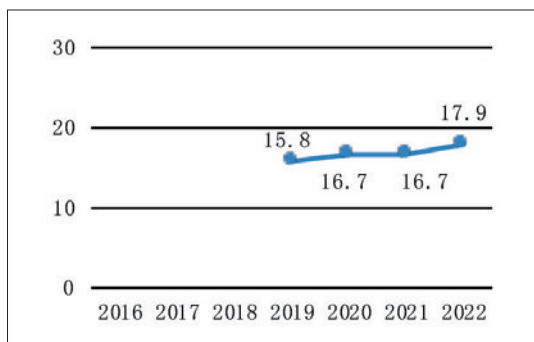
2019年に学域が設置され、教育学部・教育学研究科、経済学部、多文化社会学部の教員は人文社会科学域に配置換となりました。

2019年に学域が設置され、水産学部、水産・環境科学総合研究科、工学研究科の教員は総合生産科学域に配置換となりました。

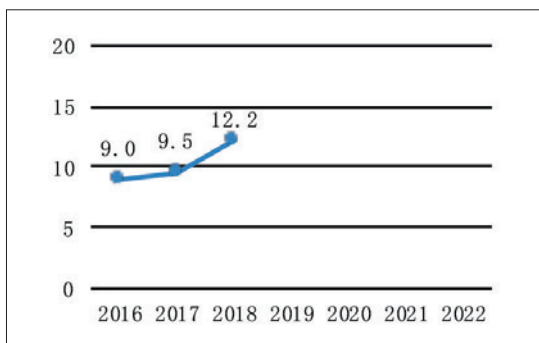
総合生産学域（環境科学系）



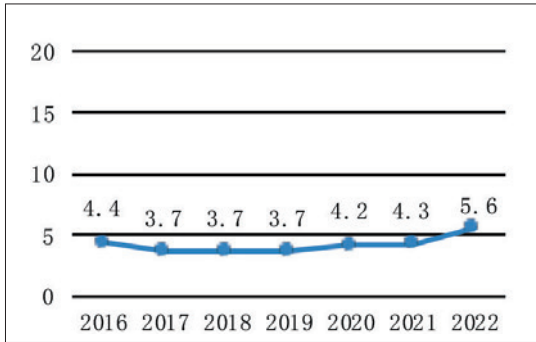
総合生産科学域（水産学系）



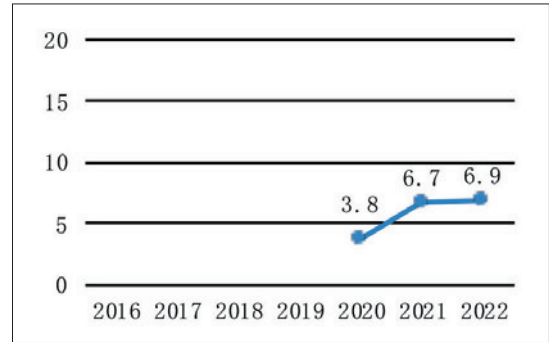
水産・環境科学総合研究科



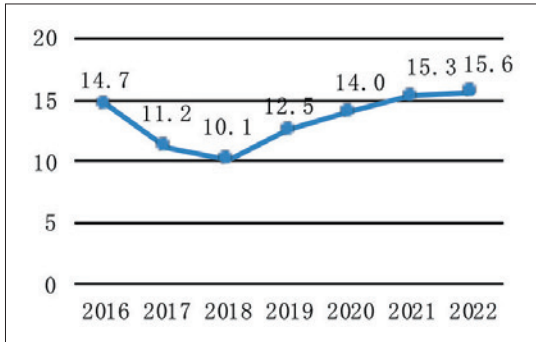
総合生産科学域（工学系）



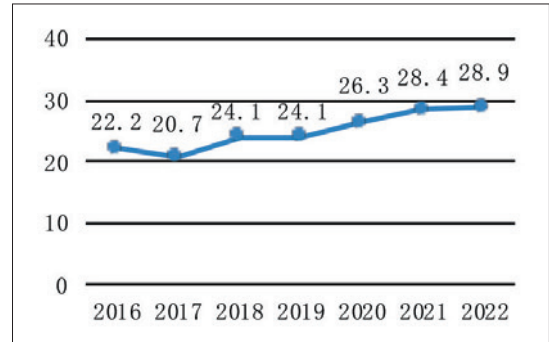
総合生産科学域（情報データ科学系）



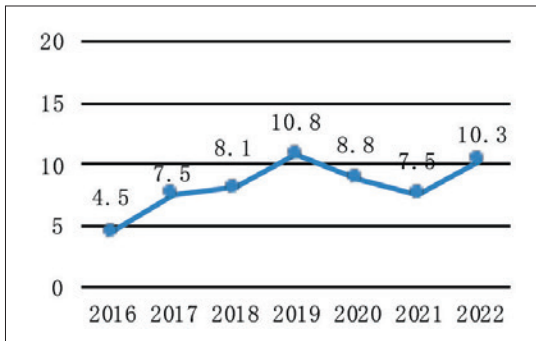
生命医科学域（医学系）



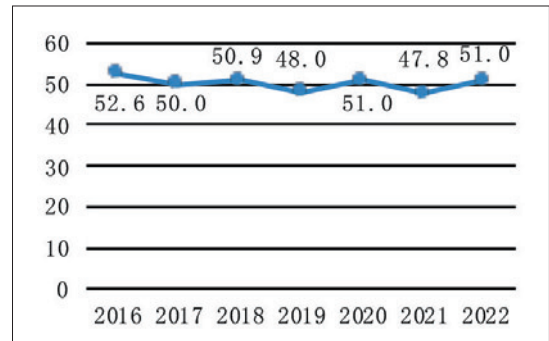
生命医科学域（歯学系）



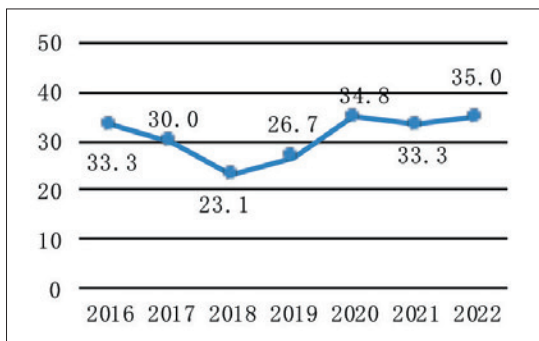
生命医科学域（薬学系）



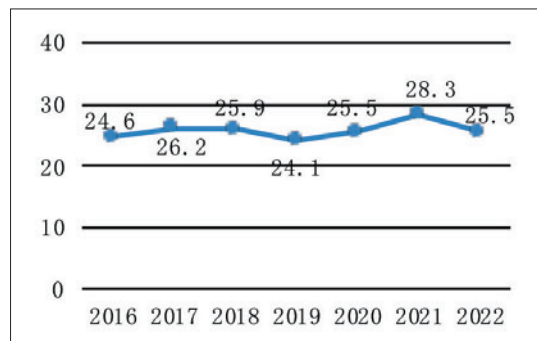
生命医科学域（保健学系）



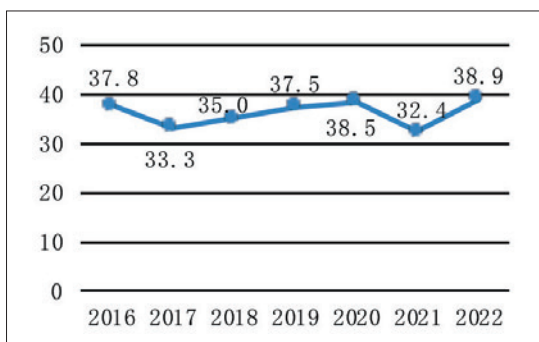
熱帯医学・グローバルヘルス研究科



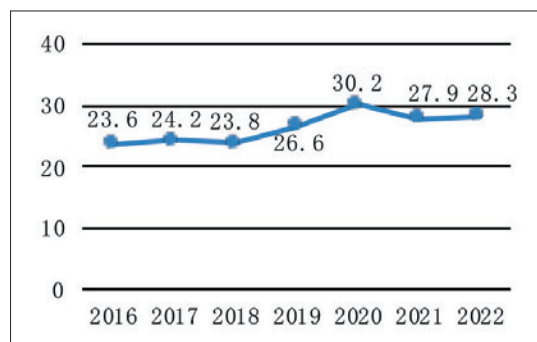
熱帯医学研究所



原爆後障害医療研究所



病院



2-6 長崎大学における女子学生の部局別比率

学部学生

学部	2015		2016		2017		2018		2019		2020		2021		2022																					
	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女																				
多文化社会学部	174	56	118	67.8%	272	79	193	71.0%	369	104	265	71.8%	408	112	296	72.5%	435	131	304	69.9%	448	136	312	69.6%	454	126	328	72.2%	442	128	314	71.0%				
教育学部	992	324	668	67.3%	982	317	665	67.7%	994	303	691	69.5%	982	305	677	68.9%	983	301	682	69.4%	929	278	651	70.1%	857	282	575	67.1%	796	274	522	65.6%				
経済学部	1687	1097	590	35.0%	1576	998	636	40.7%	1454	936	618	42.5%	1454	919	634	43.6%	1456	929	645	44.3%	1204	622	522	43.4%	1190	615	515	43.2%	1197	591	506	42.3%	1201	568	473	39.4%
医学部	1194	627	567	47.5%	1207	636	531	44.1%	1206	645	561	46.5%	1210	628	582	48.1%	1204	622	582	48.3%	1190	615	575	48.3%	1197	591	606	50.6%	1201	568	473	39.4%				
歯学部	308	178	130	42.2%	318	186	132	41.5%	315	192	123	39.0%	313	185	128	40.9%	309	178	131	42.4%	308	172	136	44.2%	311	169	142	45.7%	313	166	147	47.0%				
薬学部	425	233	192	45.2%	429	233	196	45.7%	432	237	195	45.1%	426	220	206	48.4%	422	225	197	46.7%	425	227	198	46.6%	423	209	214	50.6%	413	199	214	51.8%				
情報データ科学部	1694	1494	200	11.8%	1703	1501	202	11.9%	1665	1456	209	12.6%	1661	1449	212	12.8%	1650	1433	217	13.2%	1585	1365	220	13.9%	1530	1337	193	12.6%	1451	1261	190	13.1%				
工学部	593	305	288	48.6%	581	321	260	44.8%	563	321	242	43.0%	568	330	238	41.9%	569	331	238	41.8%	579	329	250	43.2%	570	326	244	42.8%	566	314	252	44.5%				
環境科学部	484	330	154	31.8%	476	346	130	27.3%	483	348	135	28.0%	481	357	124	25.8%	476	354	122	25.6%	478	355	123	25.7%	475	364	111	23.4%	463	353	110	23.8%				
水産学部	7551	4644	2907	38.5%	7544	4617	2927	38.8%	7481	4542	2939	39.3%	7502	4505	2997	39.9%	7504	4504	3000	40.0%	7488	4502	2986	39.9%	7475	4543	2932	39.2%	7419	4485	2934	39.5%				

研究科 (修士及び
博士前期課程)

研究科名	2015		2016		2017		2018		2019		2020		2021		2022		
	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女	
多文化社会学研究科	3	2	1	33.3%	2016.3月廃止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
教育学研究科	37	22	15	40.5%	32	20	12	37.5%	30	20	10	33.3%	34	22	12	35.3%	
経済学研究科	449	404	45	10.0%	430	390	40	9.3%	424	383	41	9.7%	454	404	50	11.0%	
水産・環境科学総合研究科	117	81	36	30.8%	119	81	38	31.9%	113	74	39	34.5%	104	62	42	40.4%	
生産科学研究科	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	2018.4月廃止	-	-	-	
医歯薬総合研究科	125	59	66	52.8%	118	62	56	47.5%	127	65	62	48.8%	125	63	62	49.6%	
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2015.10月より入学開始	31	16	15	48.4%	51	23	28	54.9%	58	27	31	53.4%	67	30	37	55.2%
国際健康開発研究科	12	4	8	66.7%	2	0	2	100.0%	1	0	1	100.0%	2018.3月廃止	-	-	-	
計	743	572	171	23.0%	732	569	163	22.3%	746	565	181	24.3%	786	582	204	26.0%	

研究科 (博士及び
博士後期課程)

研究科名	2015		2016		2017		2018		2019		2020		2021		2022	
	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女
多文化社会学研究科	14	10	4	28.6%	12	6	6	50.0%	14	8	6	42.9%	15	10	5	33.3%
経済学研究科	65	55	10	15.4%	74	62	12	16.2%	72	58	14	19.4%	72	61	11	15.3%
工学研究科	62	41	21	33.9%	68	41	27	39.7%	68	43	25	36.8%	60	35	25	41.7%
水産・環境科学総合研究科	17	16	1	5.9%	11	10	1	9.1%	6	6	0	0.0%	2018.4月廃止	-	-	-
生産科学研究科	575	378	197	34.3%	589	384	205	34.8%	572	364	208	36.4%	563	364	199	35.3%
医歯薬総合研究科	2015.10月より入学開始	57	27	46.9%	56	27	48.2%	55	27	49.1%	55	27	49.1%	56	27	48.2%
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	733	500	233	31.8%	754	503	251	33.3%	732	479	253	34.6%	710	470	240	33.8%
計	733	500	233	31.8%	754	503	251	33.3%	732	479	253	34.6%	710	470	240	33.8%

専門職学位課程

研究科名	2015		2016		2017		2018		2019		2020		2021		2022	
	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女
教育学研究科	61	37	24	39.3%	67	33	34	50.7%	0	0	0	0.0%	44	21	23	52.3%
計	61	37	24	39.3%	67	33	34	50.7%	0	0	0	0.0%	44	21	23	52.3%

7-7 女子学生の学部・研究科別比率（グラフ）

各年5月1日現在

